学校番号	3017

令和２年度　英語科

教科	英語	科目	総合英語 異文化理解	単位数	前期： 総合英語 ２単位 後期： 総合英語 １単位 異文化理解 1単位	年次	２年次
校内名称	英語Ｒ			ユニット数	3	必選別	必
使用教科書	CROWN English Communication Ⅱ New Edition CROWN English Communication Ⅲ New Edition						
副教材等	Next Stage[ネクストステージ]英文法・語法問題 4th Edition（桐原書店） 四訂版 Workbook for Practice マスターコース 文法・語法演習 入試発展（数研出版） シニア イフェクティヴ Sr. Effective（エスト出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

いっそうに国際化が進んでいく世の中において、読むこと・書くこと・聞くこと・話すことの４技能を統合した英語力がますます求められることは既知の事実だろう。そうした４技能統合型の英語力を身に着けようとするならば、英文を読みほどく力が必須となることは明らかである。たとえば、まとまった英文を聴解するためには、まとまった英文を読解できる必要がある。また、まとまった英文を書くためには、英語の文章構造に慣れ親しんでおく必要がある。その文章構造に慣れ親しむ場が、英文読解である。そうして身につけていく書く力がそのまま話す力にも転用されていくこととなる。もちろん、それら４技能は相互に作用しあいながら伸びていくものであるが、読解力のもたらす影響は計り知れないと考える。

４技能すべてを支えうる読解力を養うために、１年次より行っている「構文を見抜きながら読む」ことを継続して行う。以下に、昨年度示した予習・復習方法を再掲する。自身の英語力を鑑みて、もう一度このように授業に臨んでほしい。

[予習]１）事前に範囲に目を通し、全体の内容をつかむ。２）分からない単語・熟語を調べてくることは当然であるが、本文の流れなどからも意味を類推するように努めること。教科書本文に関しては日本語の語順に直した全訳を作ってくる必要はない。できる限り英語のまま内容を理解することを最終目標とする。また、一年次に学習した文法事項が、文章中にどのように使われているかを自身で確認しておくこと。そのさいには、適宜文法書を参考すること。

[授業]予習で分からなかったことを確認する。本文の英語表現が自分のものとなるように、授業中の音読・ペアワーク・発言などの活動に積極的な態度で参加すること。

[復習]教材の内容を理解しながら、よどみなく読めるようになるまで、シャドウイング、オーバーラッピング、トランスレーションなどの方法を使って、音読の練習をする。

また２年次より、読解力の基礎となる文法事項の定着を図るための演習も行っていく。すべて既習事項である。演習を通じ、定着できていない単元を見つけ、随時復習に励んでほしい。

2　学習の到達目標

７４期は、激動の大学入試改革の真っただ中にいる。求められる英語力は変わらぬものの、それがどのように測られるのか依然不透明なままである。そうしたなかにあれど、どのような場面であっても発揮できる英語力を身につけることを目標とする。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心･意欲･態度	b:思考･判断･表現	c:技能	d:知識･理解
観点の趣旨	意欲的に授業参加することができているか 授業中のアクティビティ等の取り組みに、積極的に参加できているか	インプット情報を整理し、アウトプットに必要な情報を取捨選択できているか正しい英語の表現ができているか	ある程度のまとまった長さの英文、図やグラフを読み取り、理解できているか、それらを適切に用いたリスニングやスピーキングができているか	リーディング・リスニング・スピーキングに必要な単語力、科学、人文学、社会学などの知識を持っているか
評価方法	出席・アクティビティ・課題提出	考査・課題提出	考査・ワークシート	考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
評価点の割合は、考査点８０％程度、平常点２０％程度です。

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (4時間)	劇作家・平田オリザが、16歳のときに決意したアメリカ・ヨーロッパへの自転車一人旅を通して、その後の人生に与えた影響について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		劇作家・平田オリザが16歳の時に行った、アメリカ・ヨーロッパへの自転車一人旅について、自身の意見もまとめて話すことができる。	劇作家・平田オリザが16歳の時に行った、アメリカ・ヨーロッパへの自転車一人旅を考える。	劇作家・平田オリザが16歳の時に行った、アメリカ・ヨーロッパへの自転車一人旅ついて、自身の意見もまとめて話すことができているか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		関係代名詞の非制限用法／不定詞の意味上の主語／動名詞の意味上の主語を理解できる。	伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。	関係代名詞の非制限用法／不定詞の意味上の主語／動名詞の意味上の主語を理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		劇作家・平田オリザが16歳の時に行った、アメリカ・ヨーロッパへの自転車一人旅について、正しく理解できる。	劇作家・平田オリザが16歳の時に行った、アメリカ・ヨーロッパへの自転車一人旅について、正しく理解する。	劇作家・平田オリザが16歳の時に行った、アメリカ・ヨーロッパへの自転車一人旅について、正しく理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査のリスニング部分を判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		劇作家・平田オリザが16歳の時に行った、アメリカ・ヨーロッパへの自転車一人旅について、正しく理解できる。	劇作家・平田オリザが16歳の時に行った、アメリカ・ヨーロッパへの自転車一人旅について、正しく理解する。	劇作家・平田オリザが16歳の時に行った、アメリカ・ヨーロッパへの自転車一人旅について、正しく理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中での発問に対する答えを判断材料として活用する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 2 (4時間)	史上最強の棋士といわれる羽生善治の勝負観から、さらには人生哲学に触れる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		羽生善治の勝負観・人生哲学について、自身の意見もまとめて話すことができる。	羽生善治の勝負観・人生哲学を考える。	羽生善治の勝負観・人生哲学ついて、自身の意見もまとめて話すことができているか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		関係副詞の非制限用法／受け身・否定の分詞構文／S+V+O (O=whether節) を理解できる。	伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。	関係副詞の非制限用法／受け身・否定の分詞構文／S+V+O (O=whether節) を理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		羽生善治の勝負観・人生哲学について、正しく理解できる。	羽生善治の勝負観・人生哲学について、正しく理解する。	羽生善治の勝負観・人生哲学について、正しく理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング部分を判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		羽生善治の勝負観・人生哲学について、正しく理解できる。	羽生善治の勝負観・人生哲学について、正しく理解する。	羽生善治の勝負観・人生哲学について、正しく理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中での発問に対する答えを判断材料として活用する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (4時間)	世の中には、過去における当時の技術では考えられない「不思議な人工物」がある。その存在について知る。	過去における当時の技術では考えられない「不思議な人工物」について、自身の意見もまとめて話すことができる。	過去における当時の技術では考えられない「不思議な人工物」を考える。	過去における当時の技術では考えられない「不思議な人工物」ついて、自身の意見もまとめて話すことができているか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		前置詞+関係代名詞／助動詞+have+過去分詞／It is known that ～を理解できる。	伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。	前置詞+関係代名詞／助動詞+have+過去分詞／It is known that ～を理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		過去における当時の技術では考えられない「不思議な人工物」について、正しく理解できる。	過去における当時の技術では考えられない「不思議な人工物」について、正しく理解する。	過去における当時の技術では考えられない「不思議な人工物」について、正しく理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査のリスニング部分を判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		過去における当時の技術では考えられない「不思議な人工物」について、正しく理解できる。	過去における当時の技術では考えられない「不思議な人工物」について、正しく理解する。	過去における当時の技術では考えられない「不思議な人工物」について、正しく理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中での発問に対する答えを判断材料として活用する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 4 (4時間)	「国境なき医師団」に参加した貫戸朋子医師の活動を通じて、国際協力について考える。	「国境なき医師団」に参加した貫戸朋子医師の活動について、自身の意見もまとめて話すことができる。	「国境なき医師団」に参加した貫戸朋子医師の活動を考える。	「国境なき医師団」に参加した貫戸朋子医師の活動について、自身の意見もまとめて話すことができているか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		不定詞+前置詞／完了進行形／強調構文を理解できる。	伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。	不定詞+前置詞／完了進行形／強調構文を理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		「国境なき医師団」に参加した貫戸朋子医師の活動について、正しく理解できる。	「国境なき医師団」に参加した貫戸朋子医師の活動について、正しく理解する。	「国境なき医師団」に参加した貫戸朋子医師の活動について、正しく理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査のリスニング部分を判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		「国境なき医師団」に参加した貫戸朋子医師の活動について、正しく理解できる。	「国境なき医師団」に参加した貫戸朋子医師の活動について、正しく理解する。	「国境なき医師団」に参加した貫戸朋子医師の活動について、正しく理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中での発問に対する答えを判断材料として活用する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (4時間)	18c～19c、アメリカ南東部に居住するチェロキーの母語を守る闘いを通して、民族にとって母語を失わないことの意味を考える。	民族にとって母語を失わないことの意味について、自身の意見もまとめて話すことができる。	民族にとって母語を失わないことの意味を考える。	民族にとって母語を失わないことの意味ついて、自身の意見もまとめて話すことができているか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		複合関係詞／不定詞の完了形／比較級+than S+Vを理解できる。	伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。	複合関係詞／不定詞の完了形／比較級+than S+Vを理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		民族にとって母語を失わないことの意味について、正しく理解できる。	民族にとって母語を失わないことの意味について、正しく理解する。	民族にとって母語を失わないことの意味について、正しく理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査のリスニング部分を判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		民族にとって母語を失わないことの意味について、正しく理解できる。	民族にとって母語を失わないことの意味について、正しく理解する。	民族にとって母語を失わないことの意味について、正しく理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中での発問に対する答えを判断材料として活用する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 6 (4時間)	興福寺・阿修羅像の魅力を探るとともに、奈良時代の東洋と西洋の交流について知る。	興福寺・阿修羅像の魅力、奈良時代の東洋と西洋の交流について、自身の意見もまとめて話すことができる。	興福寺・阿修羅像の魅力、奈良時代の東洋と西洋の交流を考える。	興福寺・阿修羅像の魅力、奈良時代の東洋と西洋の交流ついて、自身の意見もまとめて話すことができているか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		結果を表す不定詞／倒置／無生物主語の他動詞構文を理解できる。	伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。	結果を表す不定詞／倒置／無生物主語の他動詞構文を理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		興福寺・阿修羅像の魅力、奈良時代の東洋と西洋の交流について、正しく理解できる。	興福寺・阿修羅像の魅力、奈良時代の東洋と西洋の交流について、正しく理解する。	興福寺・阿修羅像の魅力、奈良時代の東洋と西洋の交流について、正しく理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査のリスニング部分を判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		興福寺・阿修羅像の魅力、奈良時代の東洋と西洋の交流について、正しく理解できる。	興福寺・阿修羅像の魅力、奈良時代の東洋と西洋の交流について、正しく理解する。	興福寺・阿修羅像の魅力、奈良時代の東洋と西洋の交流について、正しく理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中での発問に対する答えを判断材料として活用する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (4時間)	新素材・新技術を動植物から学ぶ「バイオミミクリー」を通して、自然との共生について考える。	新素材・新技術を動植物から学ぶ「バイオミミクリー」を通して、自然との共生について、自身の意見もまとめて話すことができる。	新素材・新技術を動植物から学ぶ「バイオミミクリー」を通して、自然との共生を考える。	新素材・新技術を動植物から学ぶ「バイオミミクリー」を通して、自然との共生ついて、自身の意見もまとめて話すことができているか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		仮定法現在／if 節のない仮定法／未来に関する仮定法を理解できる。	伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。	仮定法現在／if 節のない仮定法／未来に関する仮定法を理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		新素材・新技術を動植物から学ぶ「バイオミミクリー」を通して、自然との共生について、正しく理解できる。	新素材・新技術を動植物から学ぶ「バイオミミクリー」を通して、自然との共生について、正しく理解する。	新素材・新技術を動植物から学ぶ「バイオミミクリー」を通して、自然との共生について、正しく理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査のリスニング部分を判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		新素材・新技術を動植物から学ぶ「バイオミミクリー」を通して、自然との共生について、正しく理解できる。	新素材・新技術を動植物から学ぶ「バイオミミクリー」を通して、自然との共生について、正しく理解する。	新素材・新技術を動植物から学ぶ「バイオミミクリー」を通して、自然との共生について、正しく理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中での発問に対する答えを判断材料として活用する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 8 (4時間)	世界では多くの人が地雷の犠牲になっている。ロボットによる地雷除去活動を通じて、平和の大切さ、世界へ貢献することの重要性を学ぶ。	ロボットによる地雷除去活動を通じて、平和の大切さ、世界へ貢献することの重要性について、自身の意見もまとめて話すことができる。	ロボットによる地雷除去活動を通じて、平和の大切さ、世界へ貢献することの重要性を考える。	ロボットによる地雷除去活動を通じて、平和の大切さ、世界へ貢献することの重要性ついて、自身の意見もまとめて話すことができているか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		完了の分詞構文／受け身の進行形／S is C (C=whether節)を理解できる。	伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。	完了の分詞構文／受け身の進行形／S is C (C=whether節)を理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		ロボットによる地雷除去活動を通じて、平和の大切さ、世界へ貢献することの重要性について、正しく理解できる。	ロボットによる地雷除去活動を通じて、平和の大切さ、世界へ貢献することの重要性について、正しく理解する。	ロボットによる地雷除去活動を通じて、平和の大切さ、世界へ貢献することの重要性について、正しく理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査のリスニング部分を判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		ロボットによる地雷除去活動を通じて、平和の大切さ、世界へ貢献することの重要性について、正しく理解できる。	ロボットによる地雷除去活動を通じて、平和の大切さ、世界へ貢献することの重要性について、正しく理解する。	ロボットによる地雷除去活動を通じて、平和の大切さ、世界へ貢献することの重要性について、正しく理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中での発問に対する答えを判断材料として活用する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 (5時間)	「はやぶさ」の苦難の帰還をたどりながら、困難に屈さず前進することの大切さを学ぶ。	困難に屈さず前進することについて、自身の意見もまとめて話すことができる。	困難に屈さず前進することを考える。	困難に屈さず前進することついて、自身の意見もまとめて話すことができているか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		独立分詞構文／未来進行形／未来完了形を理解できる。	伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。	独立分詞構文／未来進行形／未来完了形を理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		困難に屈さず前進することについて、正しく理解できる。	困難に屈さず前進することについて、正しく理解する。	困難に屈さず前進することについて、正しく理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査のリスニング部分を判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		困難に屈さず前進することについて、正しく理解できる。	困難に屈さず前進することについて、正しく理解する。	困難に屈さず前進することについて、正しく理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中での発問に対する答えを判断材料として活用する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 10 (6時間)	家族愛のこもった絵手紙に触れ、メールにはない手紙の良さについて考える。	家族愛のこもった絵手紙に触れ、メールにはない手紙の良さについて、自身の意見もまとめて話すことができる。	家族愛のこもった絵手紙に触れ、メールにはない手紙の良さを考える。	家族愛のこもった絵手紙に触れ、メールにはない手紙の良さついて、自身の意見もまとめて話すことができているか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		不定詞の受け身／動名詞の受け身を理解できる。	伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。	不定詞の受け身／動名詞の受け身を理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		家族愛のこもった絵手紙に触れ、メールにはない手紙の良さについて、正しく理解できる。	家族愛のこもった絵手紙に触れ、メールにはない手紙の良さについて、正しく理解する。	家族愛のこもった絵手紙に触れ、メールにはない手紙の良さについて、正しく理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査のリスニング部分を判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		家族愛のこもった絵手紙に触れ、メールにはない手紙の良さについて、正しく理解できる。	家族愛のこもった絵手紙に触れ、メールにはない手紙の良さについて、正しく理解する。	家族愛のこもった絵手紙に触れ、メールにはない手紙の良さについて、正しく理解できたか。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中での発問に対する答えを判断材料として活用する。